

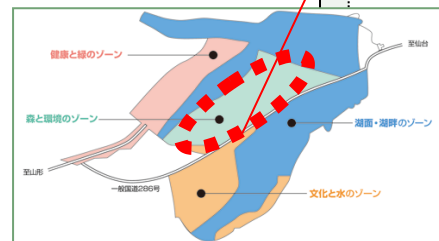


みちのく森の楽校だより 第8回

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



11月22日(土) 晴れ 少し、寒くなってきました！

森の楽校の第8回は、11月の末。朝晩は寒さを感じる今日この頃ですが、穏やかに暖かく、よいお天気の中の活動でした。「あかまつだいら」でデッキづくりを始めます。前回の活動では、伐採したスギを4mの柱として使うため、皮剥きをして、防腐剤を塗っておきました。8本の2mの長さの桁もできています。

準備は着々！今日は、いよいよ建て込みです。デッキの形が見えてくると、夢が広がります！

ねじパンづくり！

自然共生園産の小麦粉をいただいたので、練って平たくして、焼いてみようと思いました。練っていたら、子どもたちが集まってきて、なんだか粘土細工みたいになりました。延ばしてみたり、丸めてみたり。

棒に巻こうという意見が出たので、以前使った竹の棒を探してきたところ、あらあら、棒に巻いて、ねじパンづくりが始まりました。

いろいろな長さ、太さのねじパンができたので、鉄板で焼きました。最初の考えと違ってしまいましたが、まあ、楽しければこれもよし！



仙台雪菜の間引き

現在、小野分校のミニ畑では、冬野菜として、白菜と仙台雪菜を育てています。雪菜の苗の間引きして、青味に使いました。



今日のお昼は洋風です

これが今日のお昼です。これまで冷凍保存していた余ったご飯をスープで煮て、上にチーズを置いて、洋風雑炊にしました。デザートはリンゴをアルミホイルでくるんでかまどに入れて、焼きリンゴ。サラダ代わりに白菜の寒麴漬け。



洋風雑炊

ねじパン

焼きリンゴ

デッキづくり 3回目

位置決め、柱の建て込み、桁の加工

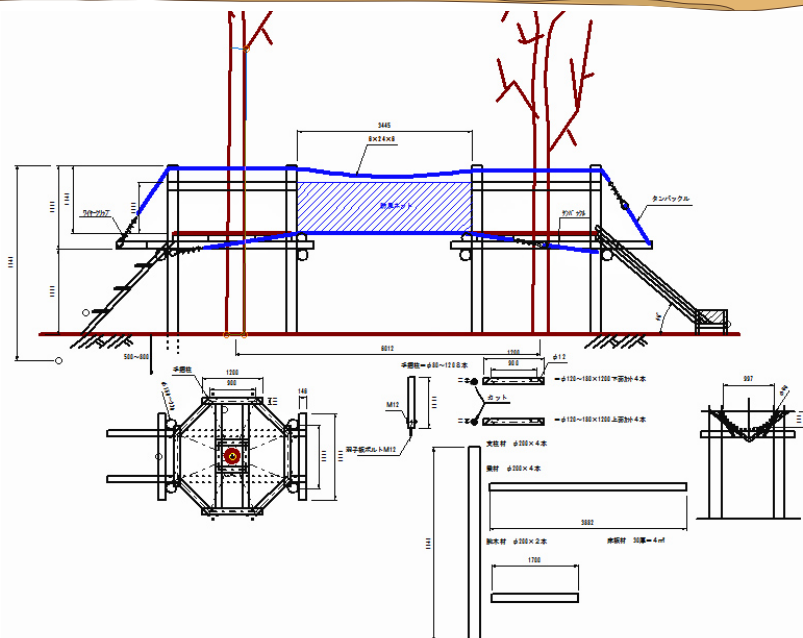
前回の活動で、柱材の皮剥き、防腐剤処理は終了しています。いよいよ今日は建て込み。

まずは位置決めです。ホストツリーを2本決め、寸法を測って、杭を打って柱の位置を決めました。ホストツリー1本につき、4本の柱を建てるのです。

次は柱の建て込みのための穴掘り。長さが4mの柱なので、1/5の80cmは埋める必要があります。交代で基礎穴を掘りました。

その穴に柱をしっかりと建て込みました。垂直になるように調整しながら、1本、1本、周囲を固めていきました。

柱が建つと、空間がずいぶんと変わって見えます。イメージがふくらみますね～！



次は、桁の組み立てです。桁は1つのホストツリーに8本、八角形に組み立てます。今回は、高所作業を少なくするために、下で組み立てて、最後に上げるのです。



下草刈り

「あかまつだいら」では周囲の木々が葉を落としたため、蔵王への眺望が開けました。ということは、下草を刈り、樹木の間引きをすれば、ここはよい展望場所となるということ！

さっそく、カマや手のこを使って、下草刈りにとりかかりました。



下準備

デッキづくりには、いろいろな材料が必要です。

ひとつは板。床材です。比較的太いスギ材を縦挽きします。チェーンソーにも人にも厳しい作業です。

もうひとつは丸太。2つのデッキをつなぎます。皮剥きをして防腐剤を塗って乾燥させます。

